

経営比較分析表（令和5年度決算）

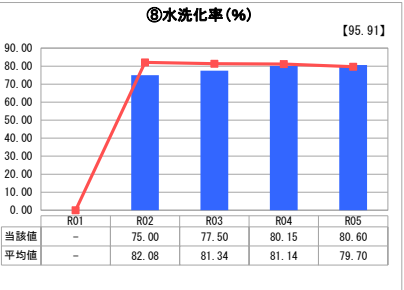
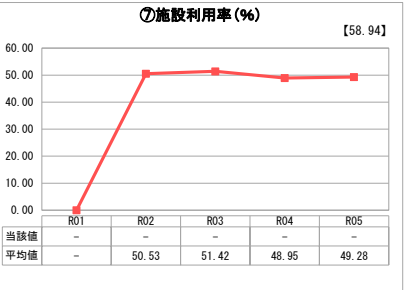
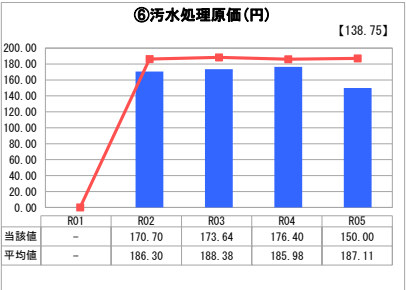
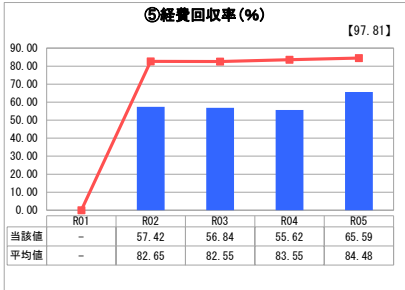
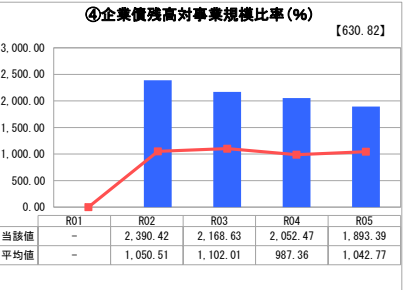
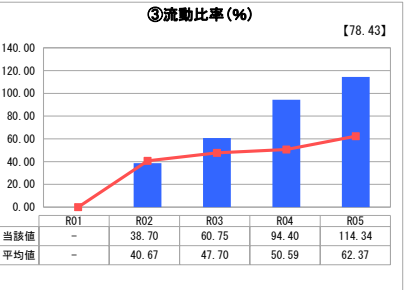
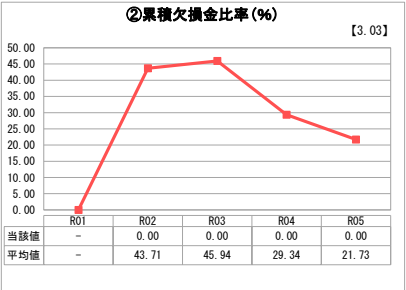
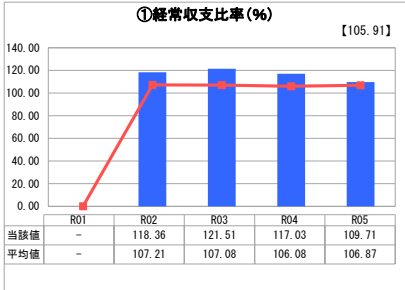
神奈川県 中井町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	73.24	75.14	80.23	1,320

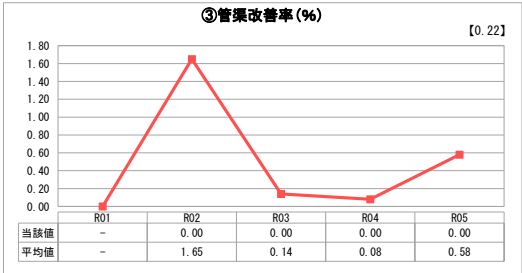
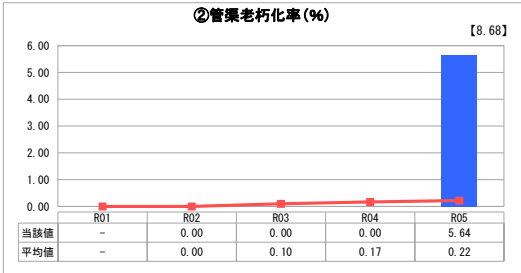
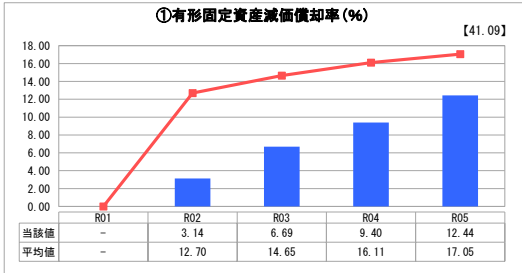
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,932	19.99	446.82
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,696	2.52	2,657.14

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は109.71%で100%を超えています
が、経費回収率は65.59%で類似団体平均値と比較し
ても低い値となっています。
水洗化率は接続人口の微増及び処理区域内人口が
減少したことにより80%を超え、類似団体平均値を
若干上回る数値となりました。
将来的には管渠の更新等あり維持管理費等の増加
が予想されるため、経費削減を進めるとともに、一
般会計からの繰入れを減らすため、適正下水道使
用料となるよう使用料改定についても検討を行い、
経営の安全化を図る必要があります。

2. 老朽化の状況について

管渠については耐用年数に達していないものがほと
んどですが、県企業庁から移管をうけたコミュニ
ティプラントの管渠が耐用年数を迎えたため、管渠
老朽化率は5.64%となりました。
有形固定資産減価償却率は12.44%で類似団体平
均値と比較しても低く老朽化の度合いは高くありま
せん。令和元年度から管路調査を実施しています
が、将来的な管渠の更新を計画的に進めていく必要
があります。

全体総括

現状では、耐用年数に達する管渠等は少なく、管
渠等の老朽化に伴う更新は行っていません。今後は
ストックマネジメント修繕・改築計画を基に改築修
繕を実施していく予定です。
将来の維持管理費等の増加を踏まえ、経営戦略の
見直しを行い、使用料改定についても下水道運営審
議会にて審議し、持続可能な下水道事業が運営でき
るよう努めます。
令和2年度から地方公営企業会計に移行しました
ので、引き続き経営状況と財政状況を明確化するこ
とに努めます。
職員数が不足しており専門的な事務や技術の継承
に課題があるため、適正な職員配置・適切な事務分
担についても検討していく必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。